

「日本の商業アニメーションの特徴とガンダムの位置づけ」

【講義概要】

日本の商業アニメーションはいかにして独特のものになったのか、複数の要因から分析する。またアニメ業界発のオリジナル・コンテンツ「ガンダムシリーズ」を例に、解説を深める。

- ・ 商業アニメーションの歴史
- ・ 独自性と地理的文化論
- ・ 産業の視点
- ・ ガンダムシリーズの文化と産業の特異性

日時 2016年12月10日(土) 13:00~15:00

会場 中野キャンパス高層棟3階 311教室

講師 内田 健二氏(株)サンライズ特別顧問)

コーディネーター 氷川 竜介 客員教授

講師プロフィール:

内田 健二 (うちだ けんじ)

1953年茨城生まれ。1976年東京造形大学卒業。転職後、1978年日本サンライズ(現・サンライズ)入社。制作進行、制作デスクを経て、1985年「機動戦士Zガンダム」のプロデューサーに。

以降、80年代に展開された「ガンダム」シリーズを中心に、同社のアニメ作品を数多く手がける。

2008年には同社5代目代表取締役社長に就任。代表取締役会長を経て、現在は特別顧問。

他に携わった作品は「ミスター味っ子」「絶対無敵ライジンオー」「元気爆発ガンバルガー」「熱血最強ゴウザウラー」など。



予約不要：学部生、学外の方も受講可能です

【問い合わせ先】 明治大学大学院 国際日本学研究所: TEL 03-5343-8039